

## 令和2年度「フィールド自治体型政策研究会」実施概要

「人口減少で広がる社会のスキマ（成り行きに任せれば失われるであろう機能・存在）をどうやって埋めていくか」

～これからの日常サービスの担い手を考える～



### 【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- 研究テーマは、フィールド自治体のリアルな課題とし、解決策を提案
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 色々な地域から研究員が集まることによる、自治体の枠を超えた広い視野の形成
- フィールド自治体の現地調査だけでなく、必要に応じて先進地視察も可能
- フィールド自治体幹部の前で直接プレゼン。優れた提言は事業化につながり高いモチベーション

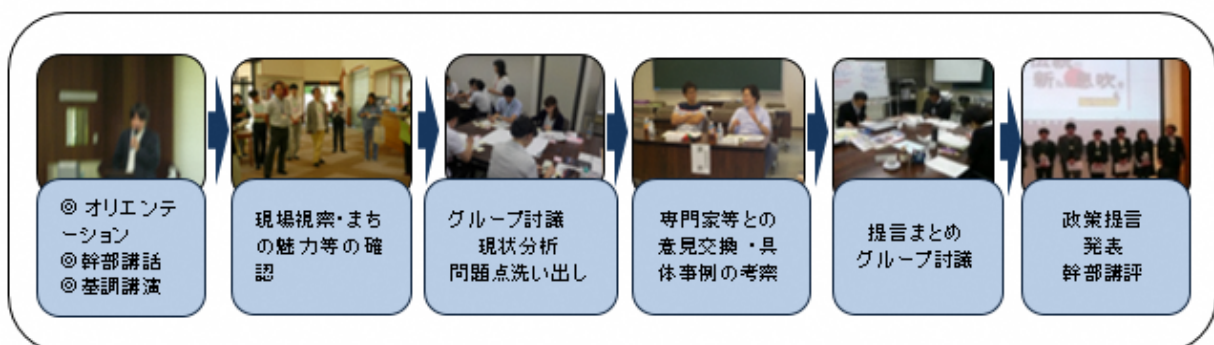


### 【令和2年度研究会のポイント！】

- 具体的な課題の選定に当たっては、現地調査を実施し決定
- 人口減少による担い手不足について、2つの視点を中心に考える
  - ◇ 地域における担い手をどう確保するか
  - ◇ 行政から地域へ～新しい担い手の育成～



### 【政策提言までの主な流れ】



## 【テーマ設定の背景と研究成果の期待】

全国の多くの地方では、人口減少が加速度的に進行しており、田村市も同じ状況にあります。町内会などの地縁団体や福祉分野、教育分野など、地域における担い手不足がますます深刻化することにより、地域の衰退が現実味を帯びています。

本研究会では、人口減少が地域に及ぼす影響、特に日常サービスにおける「成り行きに任せれば失われるであろう機能・存在」＝「社会のスキマ」を明らかにしたうえで、人口減少を前提としながらも、そのスキマを埋めるための新たな担い手の確保、日常サービスを維持するための仕組みについて研究し、提言を行います。



### 【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

現状を知る、現場を視る  
(問題点明確化)  
(8月～10月)

**第1回 (8月24日(月) 10:00～16:30 (予定)) 講演・GW** 現地開催  
開催場所: 田村市役所会議室、田村市内 (現地視察)

- ・ 講話: 田村市長  
演題: 「人口減少による田村市を取り巻く状況と課題」
- ・ 現地視察: 田村市の現状把握  
「スキマ」(地域が抱える課題、弱み)の確認

**第2回 (9月 日( ) 13:00～16:30) GW**

開催場所: 自治研修センター

- <内容>
- ・ 専門家を招いての講演
  - ・ グループワーク (デザイン思考を使って課題解決に向けた仮説をたてる)

**第3回 (10月 日( )) 現地調査・GW** 現地開催

開催場所: 田村市内

- <内容>
- ・ 地域住民ヒアリング等による仮説検証
  - ・ 課題の設定 (提言の方向性の決定)

調べる考える  
(方向性検討)  
(10～11月)

**第4回 (11月 日( )) 先進地調査・GW**

開催場所: 自治研修センター

- <内容>
- ・ グループワーク  
先進自治体の取組みを学ぶ  
(訪問もしくは、取組み地自治体職員等の招聘)

**第5回 (12月23日(水)～24日(木)) 1泊2日集中GW**

開催場所: 自治研修センター

- <内容>
- ・ グループワーク  
提言まとめに向けたグループ討論、提言書素案作成

まとめる  
(提言書作成)  
(12～1月)

**第6回 (1月 日) 研究員GW**

開催場所: 自治研修センター

- <内容>
- ・ 提言書仕上げ、報告会準備

提言する  
(提言書提出、発表)  
(2月)

**1月末～2月上旬** 提言書を田村市へ提出 (代表者及び事務局から提出)

**報告会 (2月 日( ))**

- <内容>
- ・ 研究成果の報告会、講演、講評